

令和6年

県の施策に関する県民意識調査結果報告書

【目次】

(1) 調査の概要・調査結果の概要	1
(2) 居住地(広域振興圏)別・性別・年代別集計結果	19
(3) 調査項目一覧	20
(4) 統計表	131
(5) 調査票	163

令和7年7月訂正

令和6年7月

岩手県ふるさと振興部

はじめに～本書をお読み頂くにあたって～

1 県民意識調査について

岩手県では、「いわて県民計画(2019～2028)」(以下「県民計画」という。)を策定し、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわての実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、県民計画の政策に関連する項目について、県民の皆様がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を定期的に把握するため、平成12年度から実施しているもので、今回(令和6年調査)が22回目となります。

2 今回の調査の特徴

今回の調査では、県民計画に掲げる「10の政策分野」に関連する項目の重要度、満足度や幸福度等の把握を目的とし、その調査項目数は、134項目となっています。

3 調査対象数の配分方法

本調査の調査対象者の抽出については、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、次のような方法によって行いました。

- ・ 広域振興圏における調査結果に一定の精度を確保するため、東日本大震災津波の影響や管内人口の多寡を考慮し、全県の調査数5,000について、県央及び県南に300、沿岸に800、県北に600の計2,000を定数配分として割り振り、残り3,000を4広域振興圏の管内人口比で比例配分しています。
- ・ 市町村別の調査対象数については、各広域振興圏に割り振られた調査対象数を、管内の市町村人口によって比例配分しています。

このように、調査対象(サンプル)は実際の地域別の人口構成比のとおりには割り振られていないことから、集計については、実際の市町村別の人口構成比を反映した結果となる集計方法を取っています。詳しくは、「4 集計方法」を参照してください。

4 集計方法

前述の「3 調査対象数の配分方法」のとおり、広域振興圏での調査結果の利用を考慮し、調査対象数を地域別の人口構成比で割り振っていないことから、単純に集計された県全体等の調査結果は、本県の広域振興圏の人口構成比を反映していないものになります。

そのため、集計については、実際の回答数に広域振興圏(市町村)別の人口構成比を考慮することによって、県全体の調査結果を実勢に近づける集計(母集団拡大集計)を行っています。

これを具体的に説明すると、市町村別の回答数(選択肢ごと)に、「令和5年岩手県人口移動報告年報」による市町村別18歳以上人口÷市町村別の標本数(有効回答数)で求められるウェイトを乗じて集計するものです。(したがって、集計結果の分母は18歳以上人口に一致します。)

5 その他

- ・ 四捨五入の関係で合計と内訳の計とが一致しない場合等があります。
- ・ 広域振興圏別、性別、年齢別の集計結果は、属性不明を除いたものとなっています。

調査の概要 調査結果の概要

令和6年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

1 調査の目的

「いわて県民計画(2019～2028)」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか、また、どの程度幸福度を感じているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査(郵送法)
- (5) 調査時期 令和6年1～2月(毎年調査)
- (6) 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画(2019～2028)」の10の政策分野に関連する57項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 幸福度
 - エ 家事時間及び生活時間
 - オ 県民の普段の行動
- (7) 回収者数 2,861人
- (8) 有効回収率 57.2%
- (9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,316	(46.0)
女性	1,510	(52.8)
その他	2	(0.1)
不明	33	(1.2)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	20	(0.7)
20～29歳	123	(4.3)
30～39歳	210	(7.3)
40～49歳	371	(13.0)
50～59歳	479	(16.7)
60～69歳	638	(22.3)
70歳以上	1,008	(35.2)
不明	12	(0.4)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	866	(30.3)
県南広域振興圏	846	(29.6)
沿岸広域振興圏	655	(22.9)
県北広域振興圏	494	(17.3)

(注)
小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	237	(8.3)
家族従業者	81	(2.8)
会社役員・団体役員	178	(6.2)
常用雇用者	812	(28.4)
臨時雇用者	326	(11.4)
学生	38	(1.3)
専業主婦(主夫)	331	(11.6)
無職	662	(23.1)
その他	84	(2.9)
不明	112	(3.9)

【子どもの数別】	回答者数	割合
1人	376	(13.1)
2人	1,043	(36.5)
3人	562	(19.6)
4人	79	(2.8)
5人以上	32	(1.1)
子どもはいない	595	(20.8)
不明	174	(6.1)

【居住年数別】	回答者数	割合
10年未満	84	(2.9)
10～20年未満	100	(3.5)
20年以上	2,590	(90.5)
不明	87	(3.0)

()内は%

3 用語の解説

重要度(平均)：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

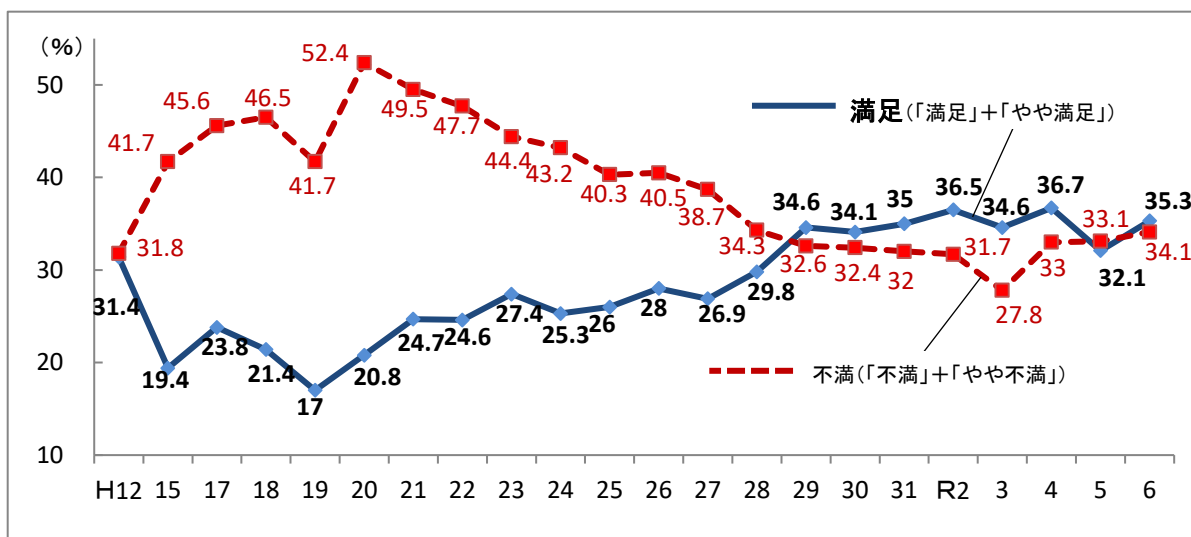
■調査結果の概要■

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

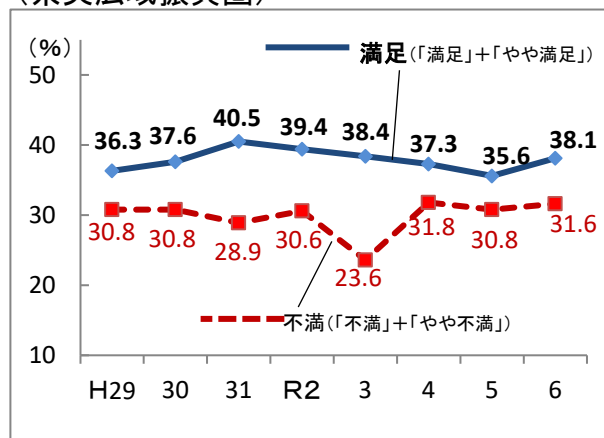
前回と比べて満足の割合が3.2ポイント増加

- 県計では、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が35.3%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合は34.1%となっている。
- また、令和5年調査と比較すると、満足の割合は32.1%から3.2ポイント増加し、不満の割合は33.1%から1.0ポイント増加している。
- 広域振興圏別にみると、満足の割合は、全ての広域振興圏で増加している。不満の割合は、沿岸では減少し、県央、県南及び県北では増加している。

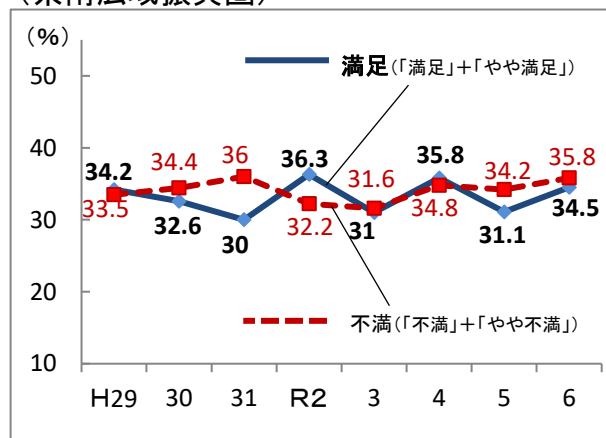
(県計)



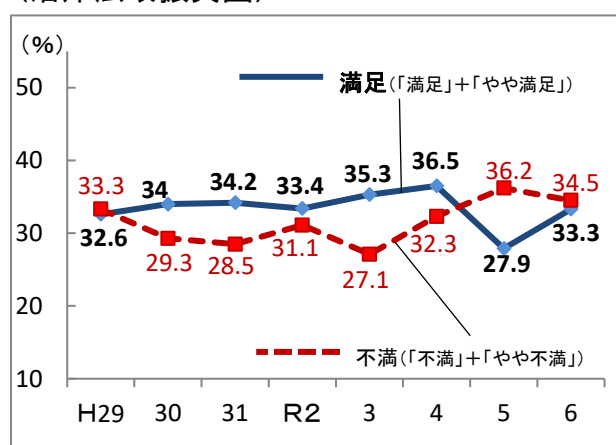
(県央広域振興圏)



(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「災害に強く安心して暮らせる県土」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
1	1	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
2	2	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
3	5	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土
4	4	①	3	適切な医療体制
5	3	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会

重要度が低い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	55	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
54	53	④	27	外国人も暮らしやすい社会
53	54	①	1	身体の健康に関する相談・指導

※ 項目は設問文を要約して記載。

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」となっている。
- 一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「公共交通機関の維持・確保」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
1	1	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
2	2	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
3	3	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
4	5	①	3	適切な医療体制
5	14	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会

満足度が低い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
57	57	⑥	36	商店街のにぎわい
56	56	⑥	42	農林水産業の担い手確保
55	54	④	24	公共交通機関の維持・確保
54	55	⑥	35	安定した就職環境
53	52	⑥	38	県内経済の活性化

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「公共交通機関の維持・確保」となっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目がニーズ度が低くなっている。

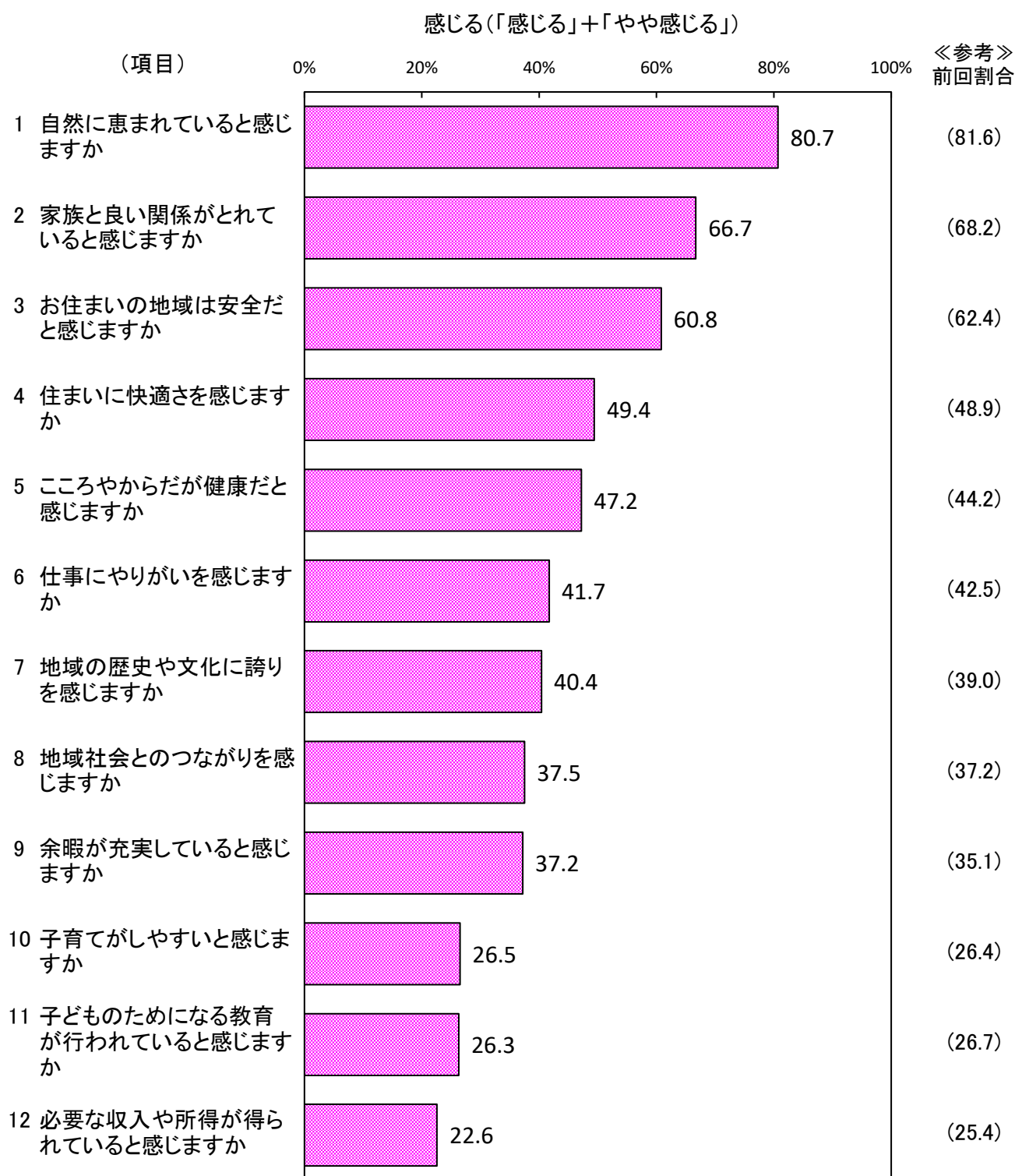
ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R5年 順位	10の 政策 分野	番号	項 目
1	1	⑥	35	安定した就職環境
2	3	⑥	42	農林水産業の担い手確保
3	5	④	24	公共交通機関の維持・確保
4				

問3 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問3－1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

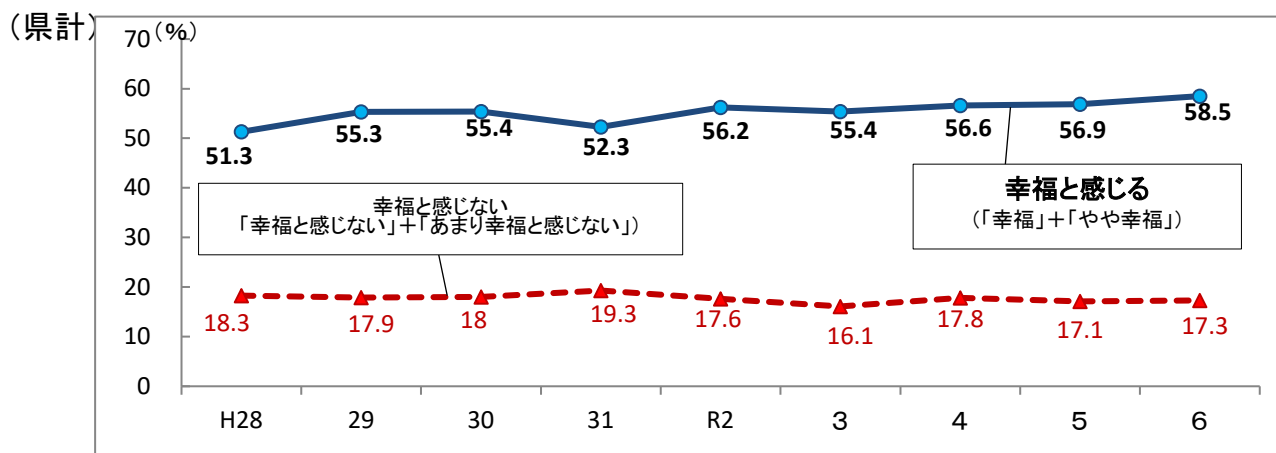
○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の80.7%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の66.7%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の60.8%となっている。



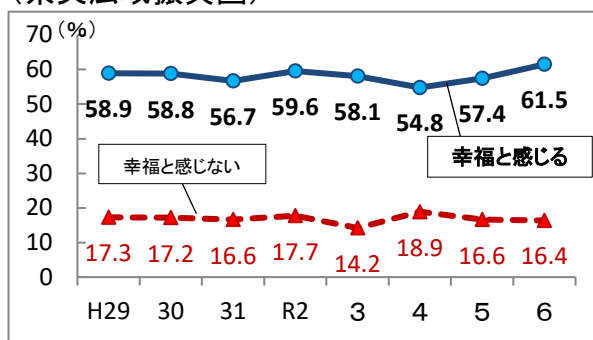
問3-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福と感じる割合が5割台後半、全ての広域振興圏で50%以上

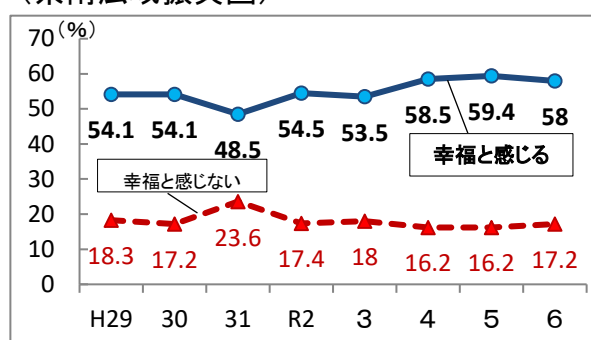
- 県計では、幸福の割合は58.5%となっており、前回と比較すると1.6ポイント増加している。
- 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は、県央、沿岸及び県北で増加し、県南で減少している。幸福と感じない割合は、県南及び県北で増加し、県央及び沿岸で減少している。



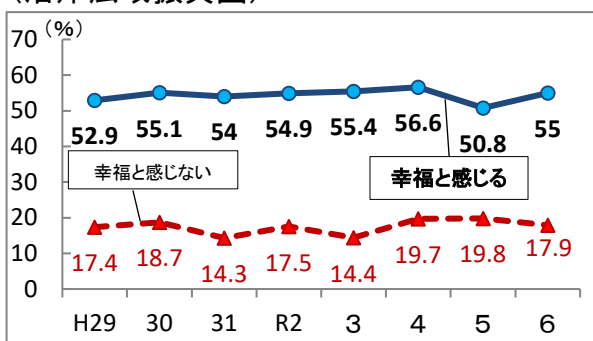
(県央広域振興圏)



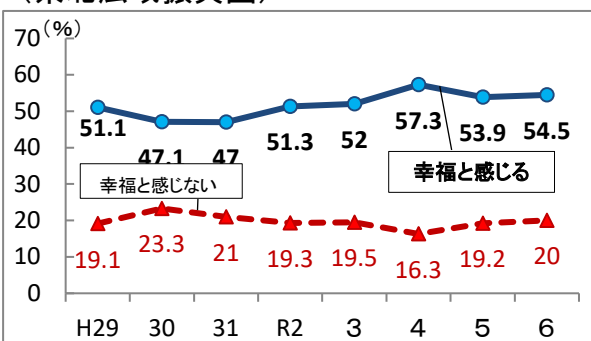
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)

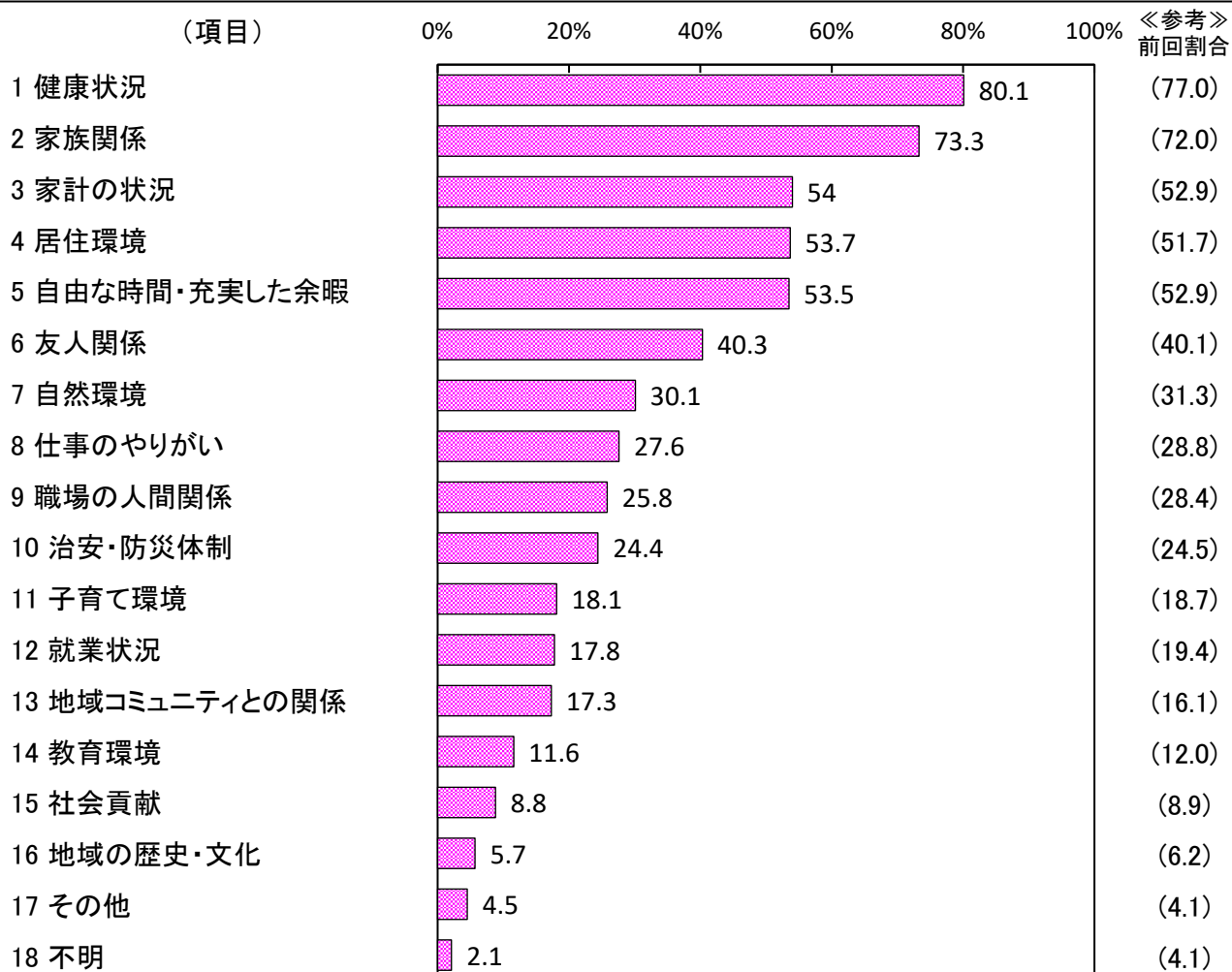


(県北広域振興圏)



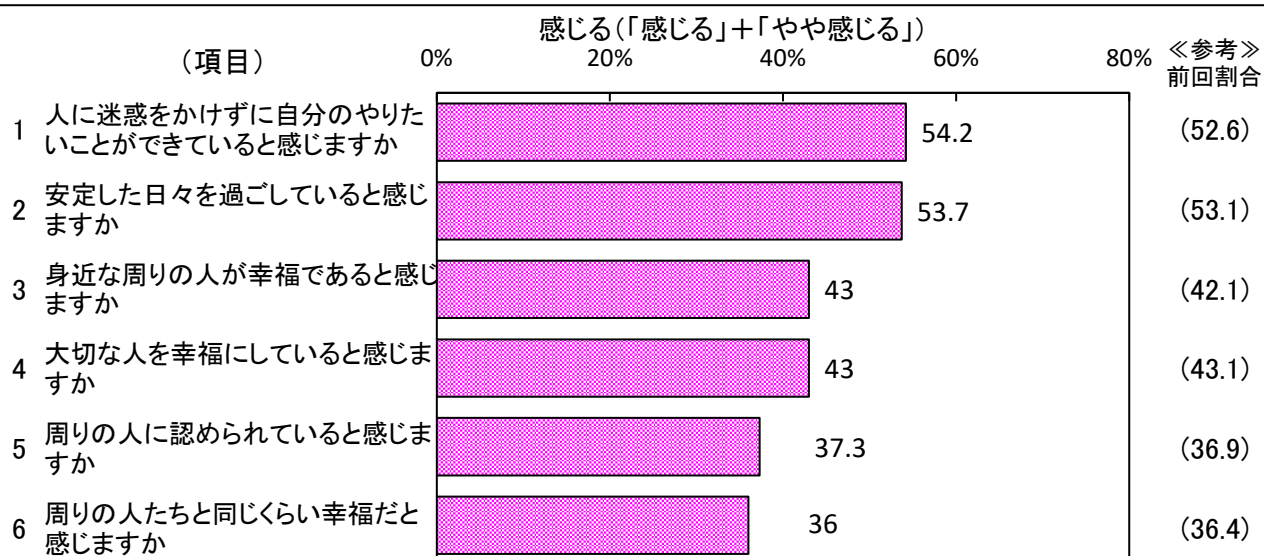
問3－3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

- 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の80.1%、「家族関係」の73.3%となっている。



問3－4 身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

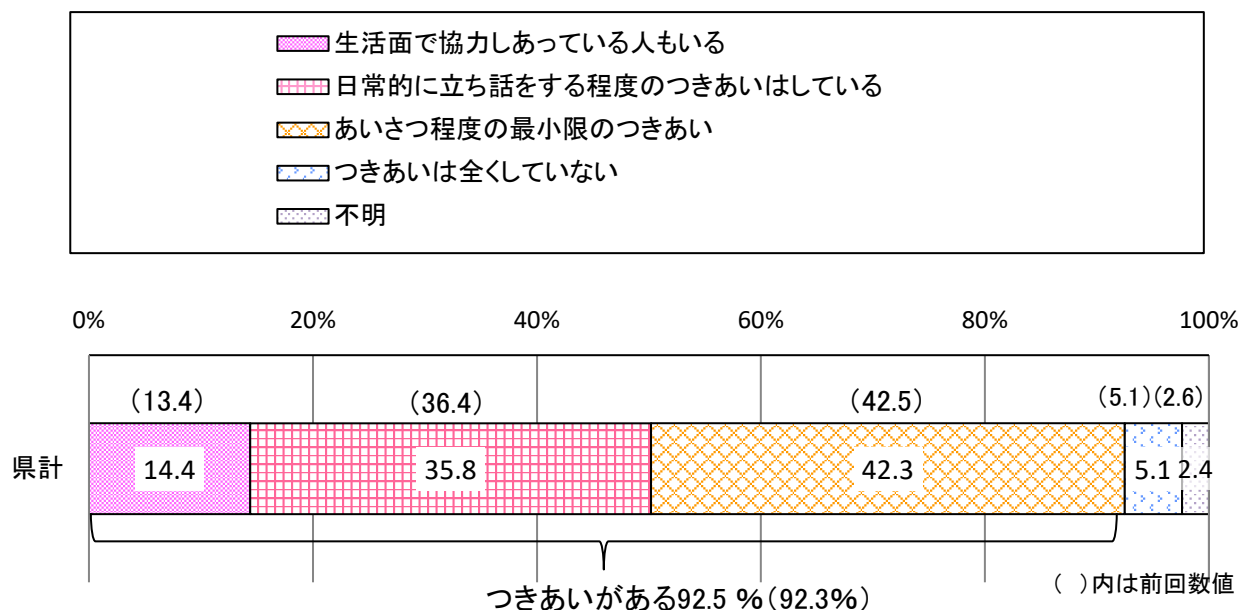
- 「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか」の54.2%、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の53.7%となっている。



問4 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等について伺います。

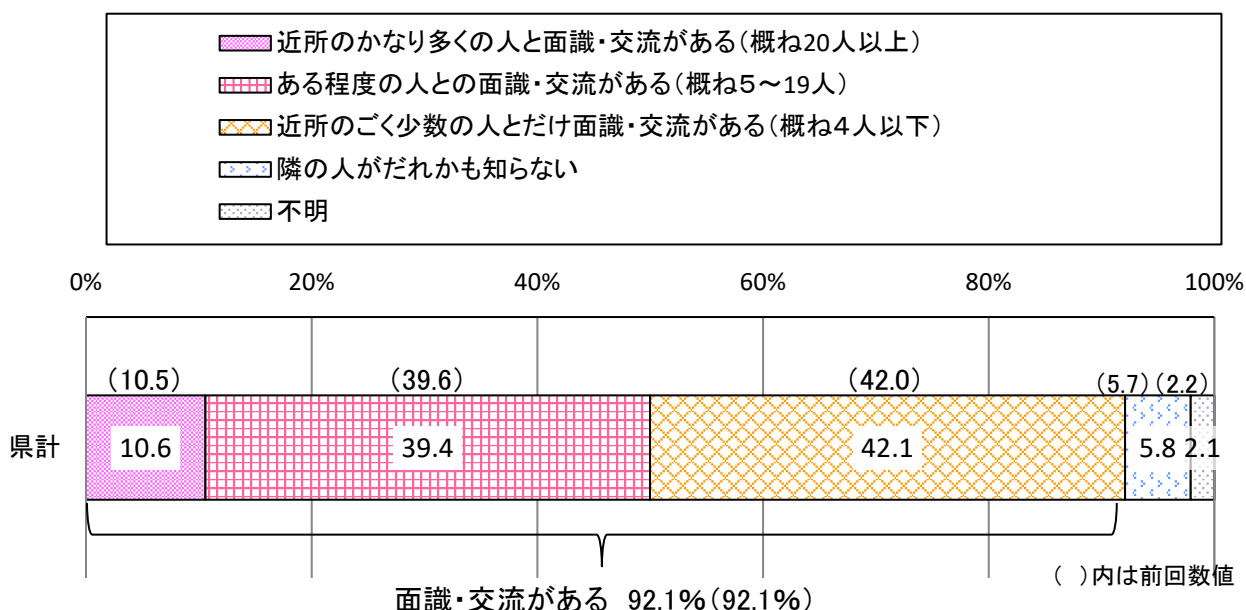
問4-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- ご近所づきあいがある（「生活面での協力」、「立ち話程度のつきあい」、「あいさつ程度のつきあい」）と回答した人の割合は、92.5%となっている。
- 一方、「つきあいは全くしていない」は5.1%となっている。



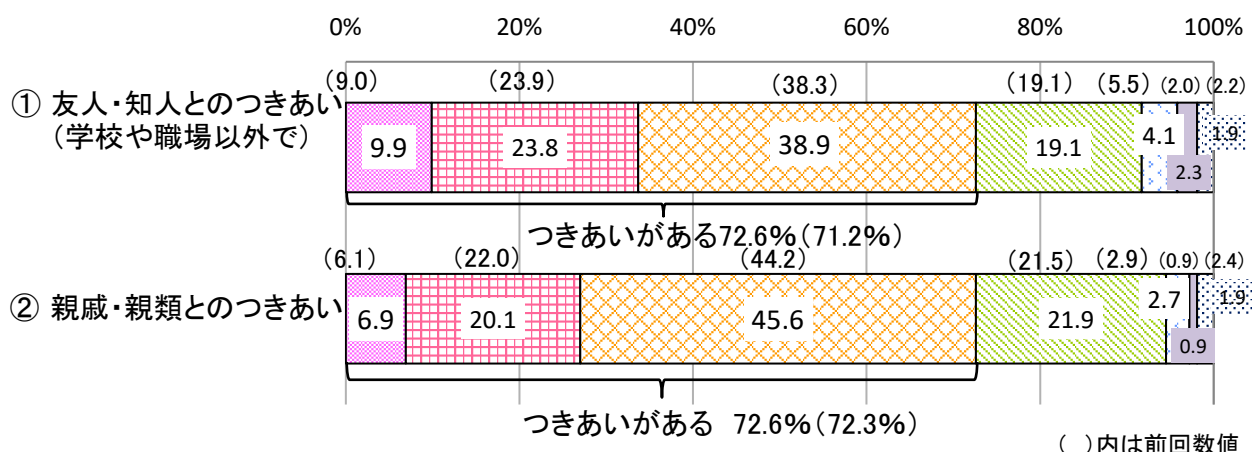
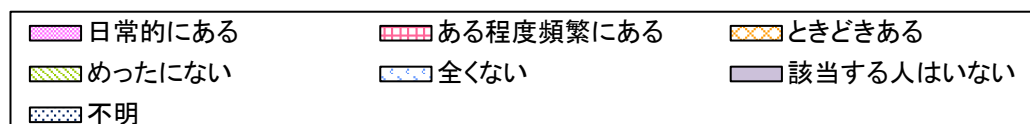
問4-2 つきあっているご近所の方の数は、どのくらいですか。

- 面識・交流がある（「近所のかなり多くの人」、「ある程度の人」、「近所のごく少数の人とだけ」）と回答した人の割合は、92.1%となっている。
- 一方、「隣の人がだれかも知らない」は5.8%となっている。



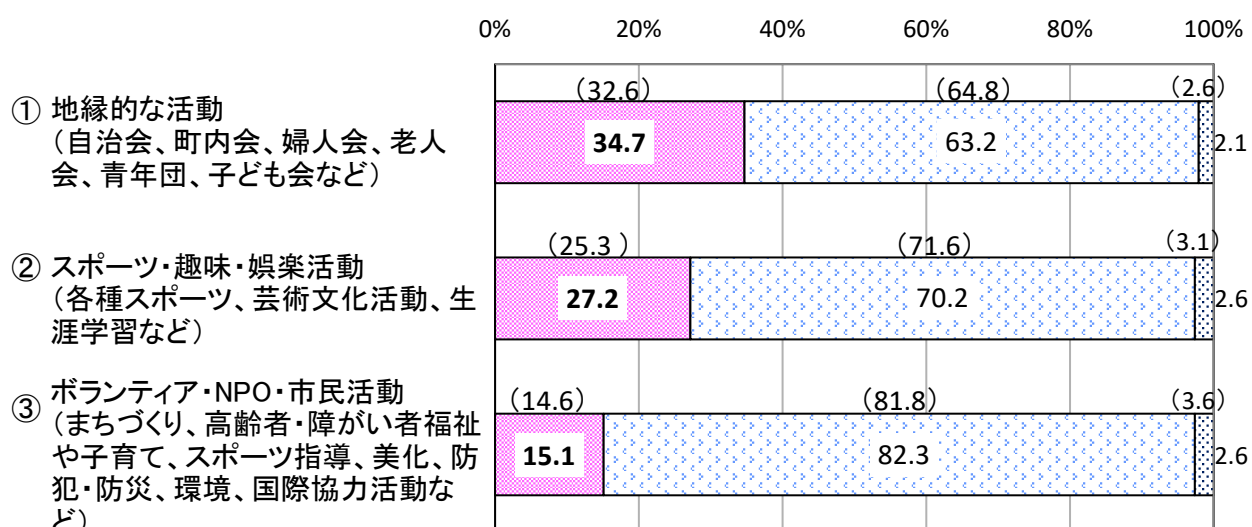
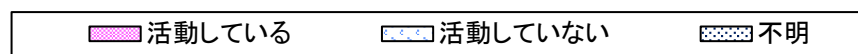
問4-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。

- つきあいがある(「日常的にある」、「ある程度頻繁にある」、「ときどきある」と回答した人の割合は、「友人・知人」、「親戚・親類」ともに72.6%となっている。
- つきあいの程度は、「友人・知人」、「親戚・親類」ともに「ときどきある」の割合が最も高く、「友人・知人」が38.9%、「親戚・親類」が45.6%となっている。



問4-4 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

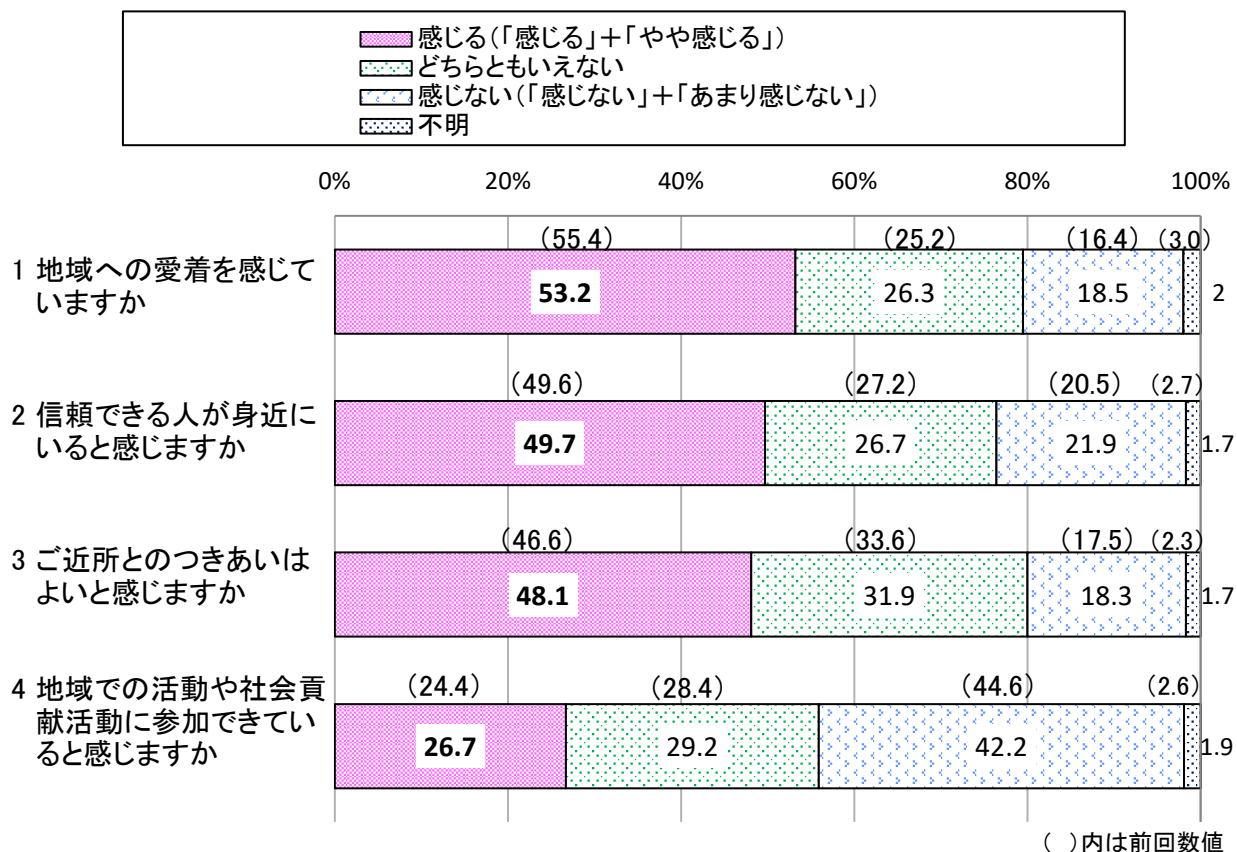
- 地縁的な活動をしている人は34.7%、スポーツ・趣味・娯楽活動をしている人は27.2%、ボランティア・NPO・市民活動をしている人は15.1%となっている。



()内は前回数値

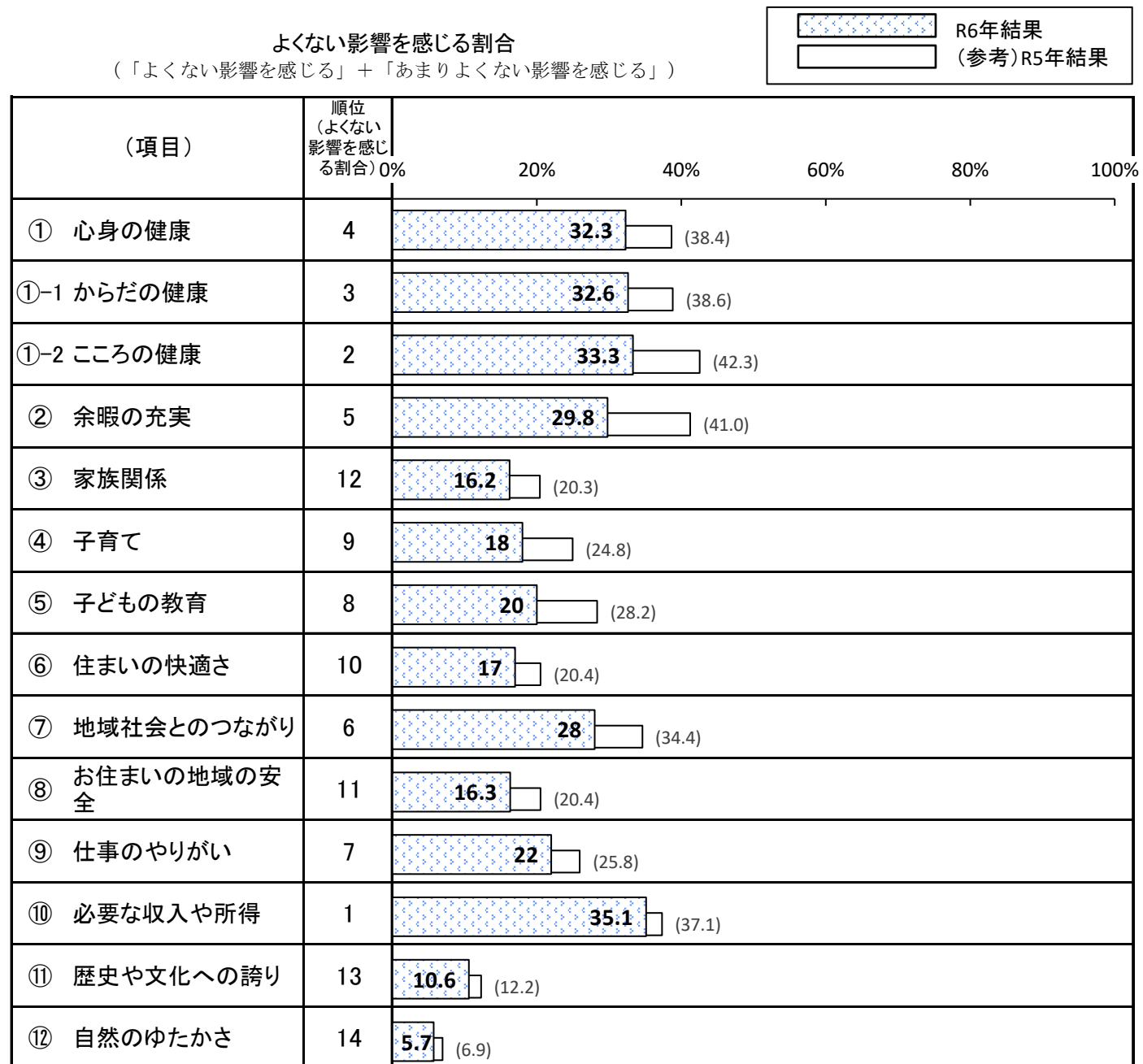
問4ー5 あなたのお住まいの地域(小・中学校校区から市町村の範囲)に対する実感をおたずねします。

○ 地域への実感は、割合の高い順に、「地域への愛着を感じていますか」は53.2%、「信頼できる人が身近にいますか」は49.7%、「ご近所とのつきあいはよいと感じますか」は48.1%、「地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか」は26.7%となっている。



問5 問3-1で回答した実感に係る新型コロナウイルス感染症のあなたへの影響について
最も近いものを1つ選んでください。

○ 分野別実感について、よくない影響を感じる（「よくない影響を感じる」＋「あまりよくない影響を感じる」）
割合が高いのは、「必要な収入や所得への影響」の35.1%、「こころの健康への影響」の33.3%、「からだ
の健康への影響」の32.6%となっている。

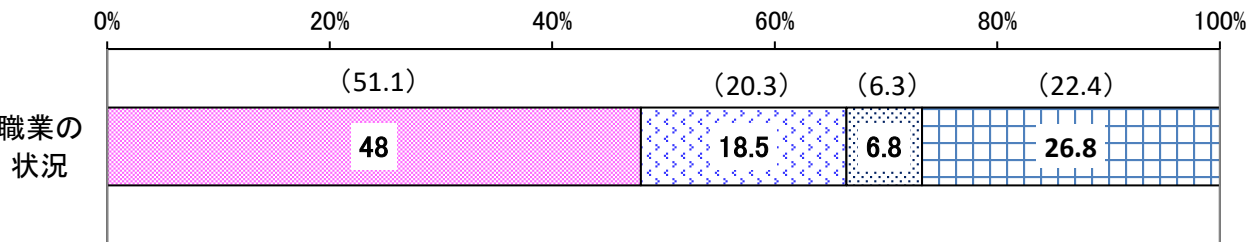
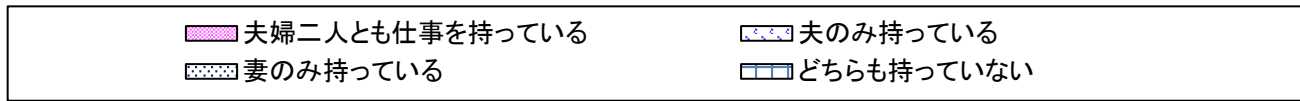


問6 家事関連時間及び生活時間について

【(1)、(2)は夫婦世帯の方のみ回答】

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

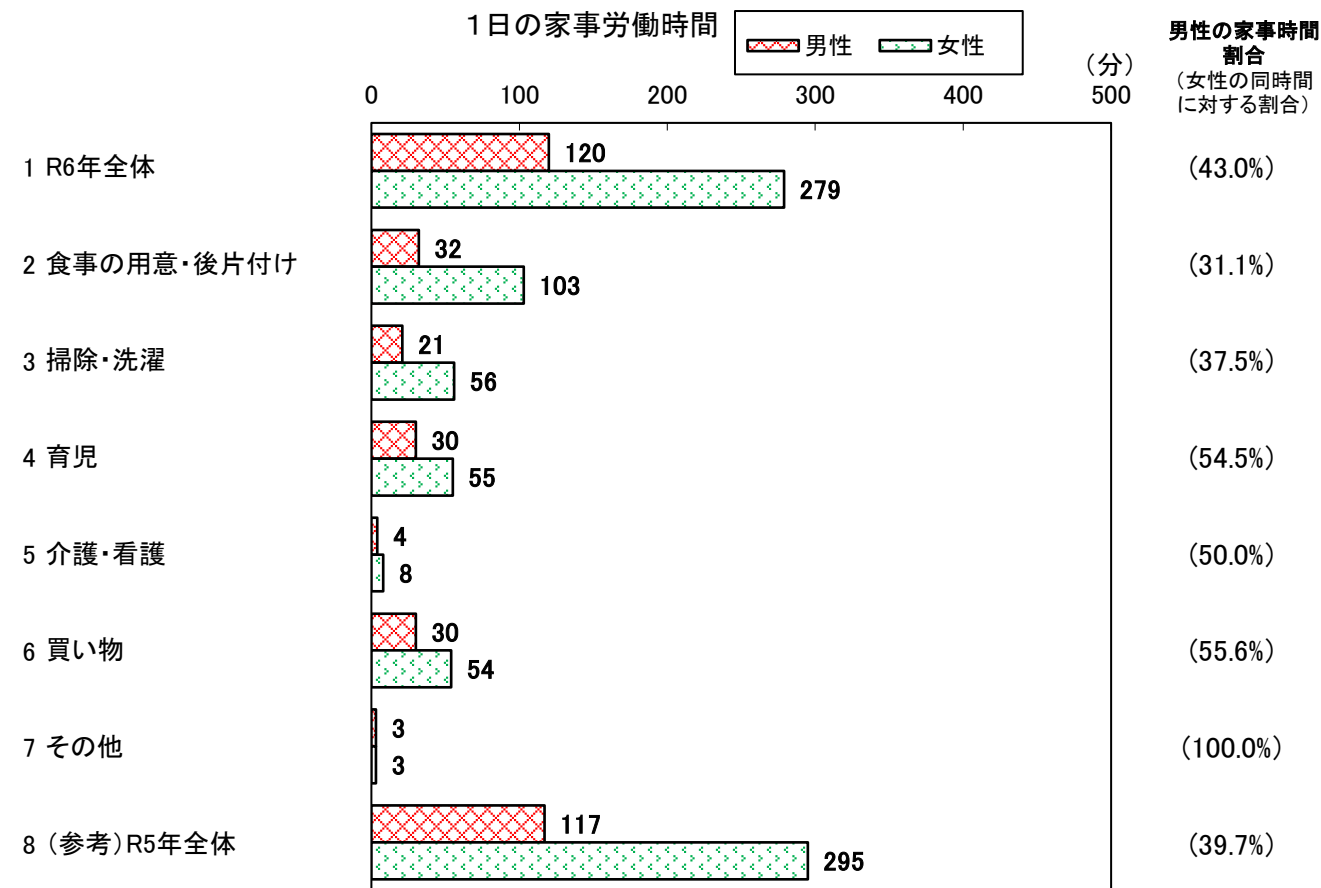
○ 夫婦二人とも仕事を持っている世帯の割合は48.0%となっている。



(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

【夫婦二人とも仕事を持っている世帯】

○ 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は120分、「妻」の家事労働時間は279分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の43.0%となっている。



(3) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

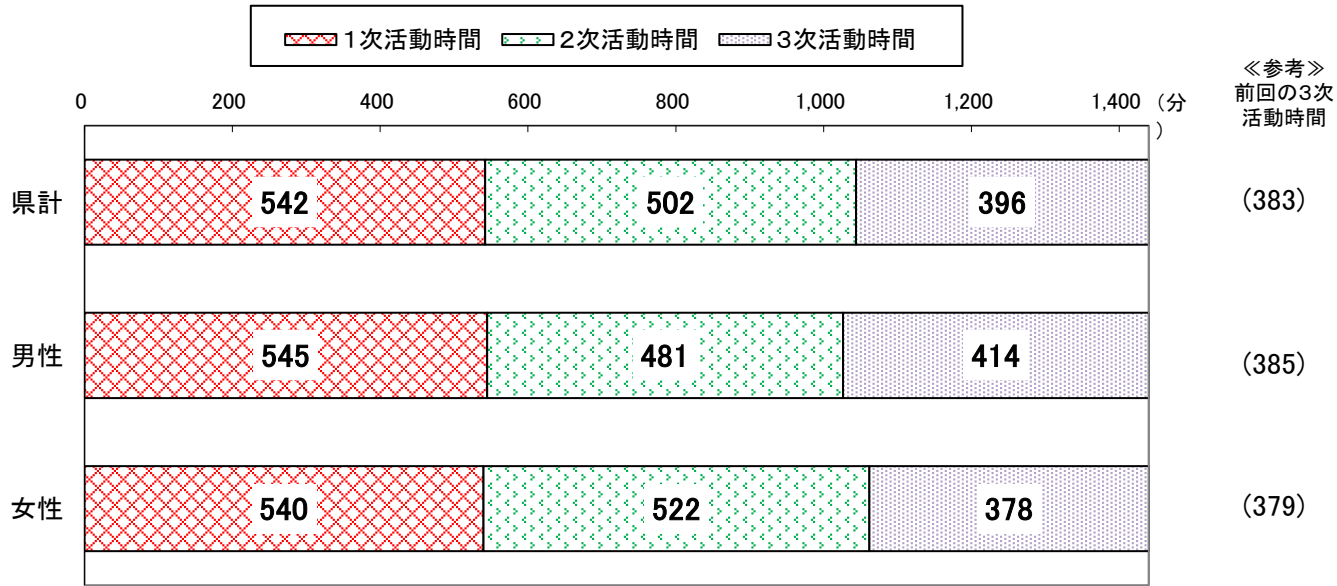
○ 1日当たりの行動の内容は、1次活動時間が542分(9時間2分)、2次活動時間が502分(8時間22分)、3次活動時間が396分(6時間36分)となっている。

- 1次活動:睡眠、食事など生理的に必要な活動

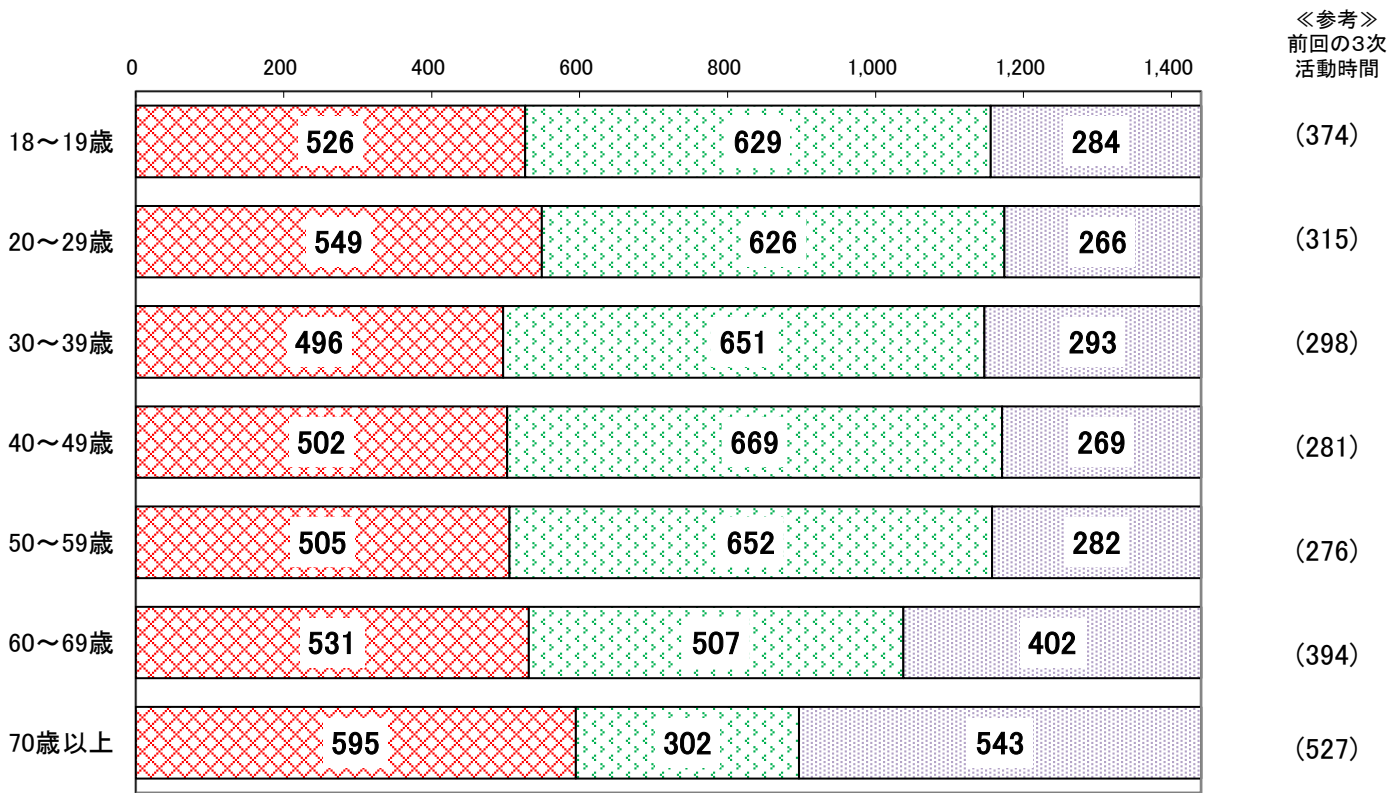
2次活動:仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3次活動:1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

ア 県計及び男女別



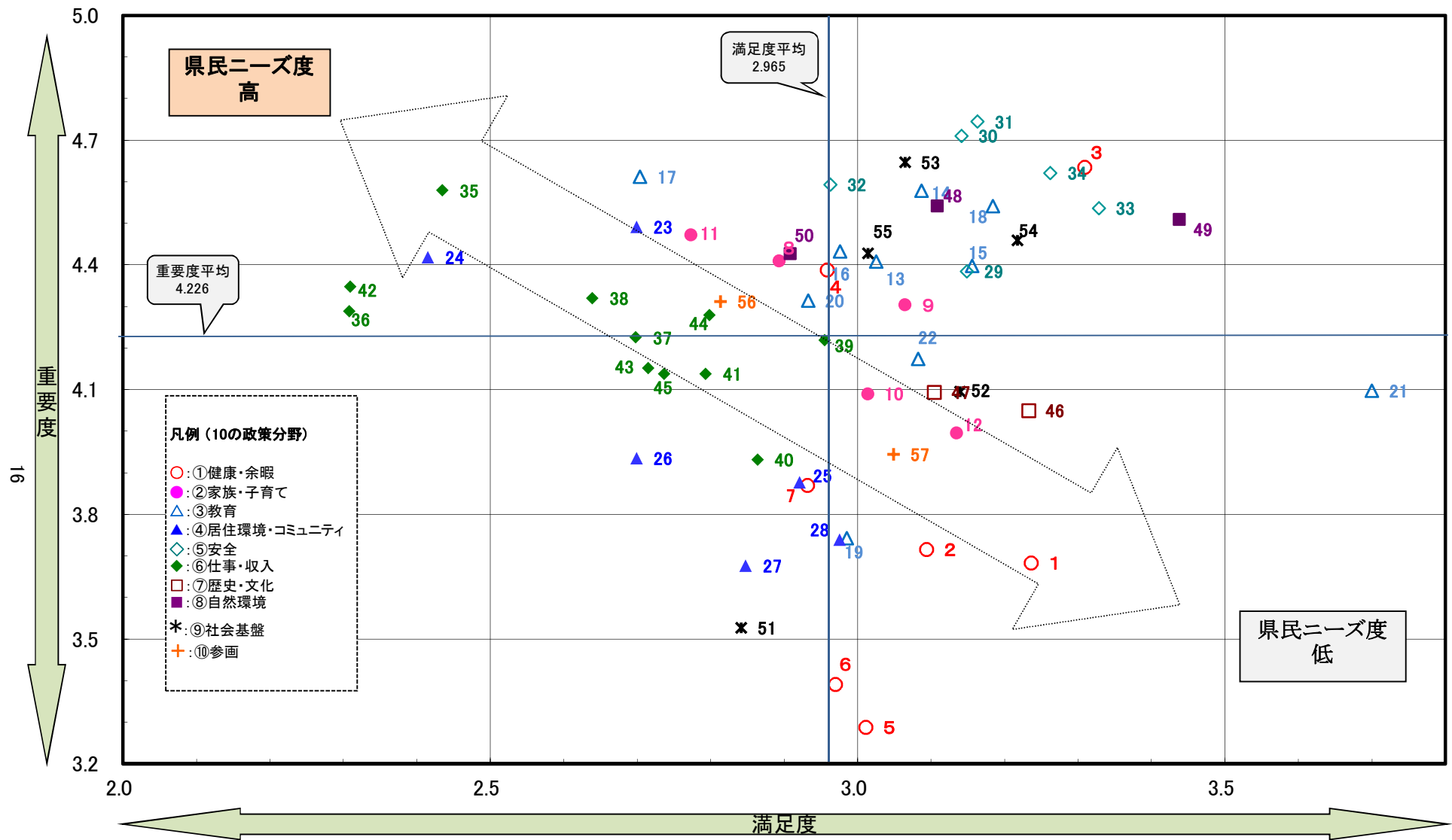
イ 年代別



(参考1)問2の各調査項目一覧(重要度、満足度、ニーズ度得点)

10の政策分野	No.	項 目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇 (○)	1	身体の健康に関する相談・指導	3.683	53	3.236	6	0.447	54
	2	心の健康に関する相談・支援	3.716	52	3.094	18	0.622	53
	3	適切な医療体制	4.635	4	3.309	4	1.325	30
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.388	24	2.959	33	1.429	22
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.287	57	3.011	27	0.276	57
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.391	56	2.970	31	0.421	55
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.869	49	2.932	36	0.937	45
②家族・子育て (●)	8	安心な子育て環境整備	4.410	21	2.893	39	1.516	15
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.304	30	3.064	22	1.239	34
	10	地域全体での青少年の健全育成	4.090	42	3.014	26	1.076	39
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.472	15	2.773	46	1.699	7
	12	ペットなど動物のいのちを大切にする社会	3.996	44	3.135	15	0.861	47
③教育 (△)	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.408	22	3.026	24	1.382	25
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.578	9	3.087	19	1.490	17
	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.397	23	3.156	11	1.241	32
	16	全ての子どもが学べる環境	4.432	17	2.976	29	1.456	19
	17	いじめや不登校への適切な対処	4.612	6	2.704	49	1.907	5
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.541	11	3.185	9	1.356	28
	19	特色ある私学教育の充実	3.742	50	2.985	28	0.757	51
	20	次世代を担う人材育成	4.314	28	2.933	35	1.381	26
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	4.097	39	3.700	1	0.396	56
	22	大学の地域社会貢献	4.174	35	3.083	20	1.091	38
④居住環境・コミュニティ (▲)	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.491	14	2.699	51	1.792	6
	24	公共交通機関の維持・確保	4.418	20	2.416	55	2.003	3
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.876	48	2.921	37	0.955	43
	26	移住・定住を増やすための取組	3.934	46	2.699	50	1.23	

(参考2) 問2の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ——— は各項目の平均値(重要度:4.226、満足度:2.965)

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。

(参考3)問2の各調査項目のニーズ度の高い順

No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)		(参考)	上段:重要度 下段:満足度			
		1	2		1	2	3	4
35	安定した就職環境		2.143				2.435	4.579
42	農林水産業の担い手確保		2.038				2.310	4.347
24	公共交通機関の維持・確保		2.003				2.416	4.418
36	商店街のにぎわい		1.980				2.308	4.288
17	いじめや不登校への適切な対処		1.907				2.704	4.612
23	生活基盤整備などが進んだ生活環境		1.792				2.699	4.491
11	仕事と生活を両立できる環境		1.699				2.773	4.472
38	県内経済の活性化		1.680				2.639	4.319
32	消費者トラブルへの適切な相談や支援		1.630				2.963	4.593
53	災害に強く安心して暮らせる県土		1.581				3.065	4.646
31	交通事故の少ない社会づくり		1.581				3.164	4.744
30	犯罪への不安の少ない社会づくり		1.568				3.142	4.710
37	中小企業の成長・発展		1.527				2.698	4.225
50	温暖化防止の取組		1.519				2.908	4.427
8	安心な子育て環境整備		1.516				2.893	4.410
56	個性と能力を發揮できる社会の実現		1.498				2.814	4.312
14	人間性豊かな子どもの育成		1.490				3.087	4.578
44	農林水産物の販路拡大		1.481				2.799	4.279
16	全ての子どもが学べる環境		1.456				2.976	4.432
43	ニーズにあった農林水産物の産地形成		1.436				2.716	4.151
48	自然環境を大切に生活		1.434				3.108	4.542
4	住み慣れた地域で生活できる環境		1.429				2.959	4.388
55	社会資本の維持管理		1.413				3.014	4.428
45	活力ある農山漁村の形成		1.400				2.737	4.137
13	子どもの学力向上に向けた教育		1.382				3.026	4.408
20	次世代を担う人材育成		1.381				2.933	4.314
34	感染症に対する備えが整っている社会		1.359				3.263	4.621
18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境		1.356				3.185	4.541
41	魅力ある観光地づくり		1.344				2.794	4.137
3	適切な医療体制		1.325				3.309	4.6

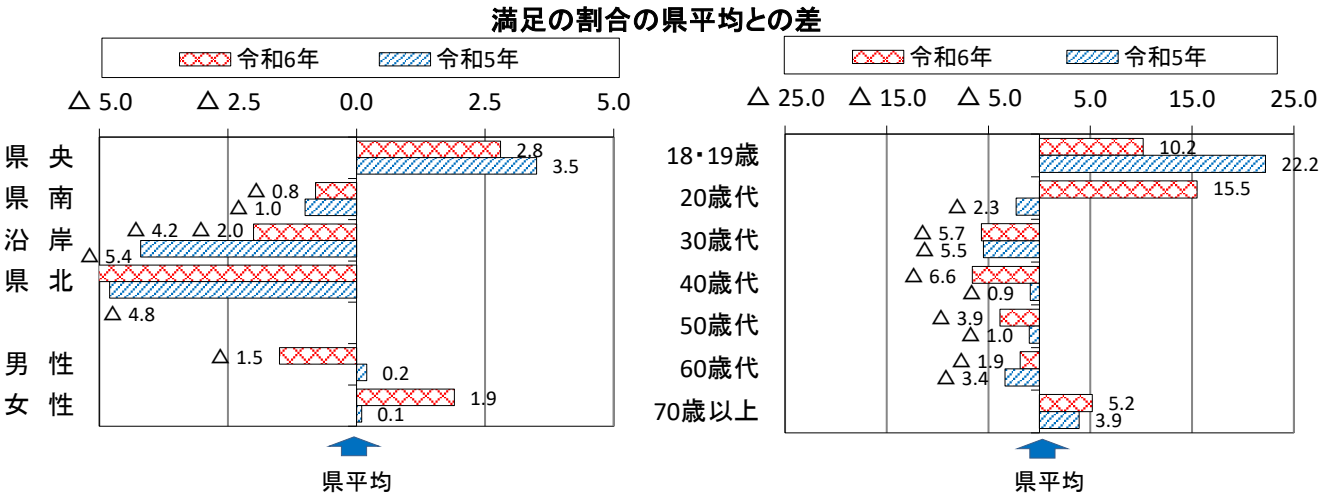
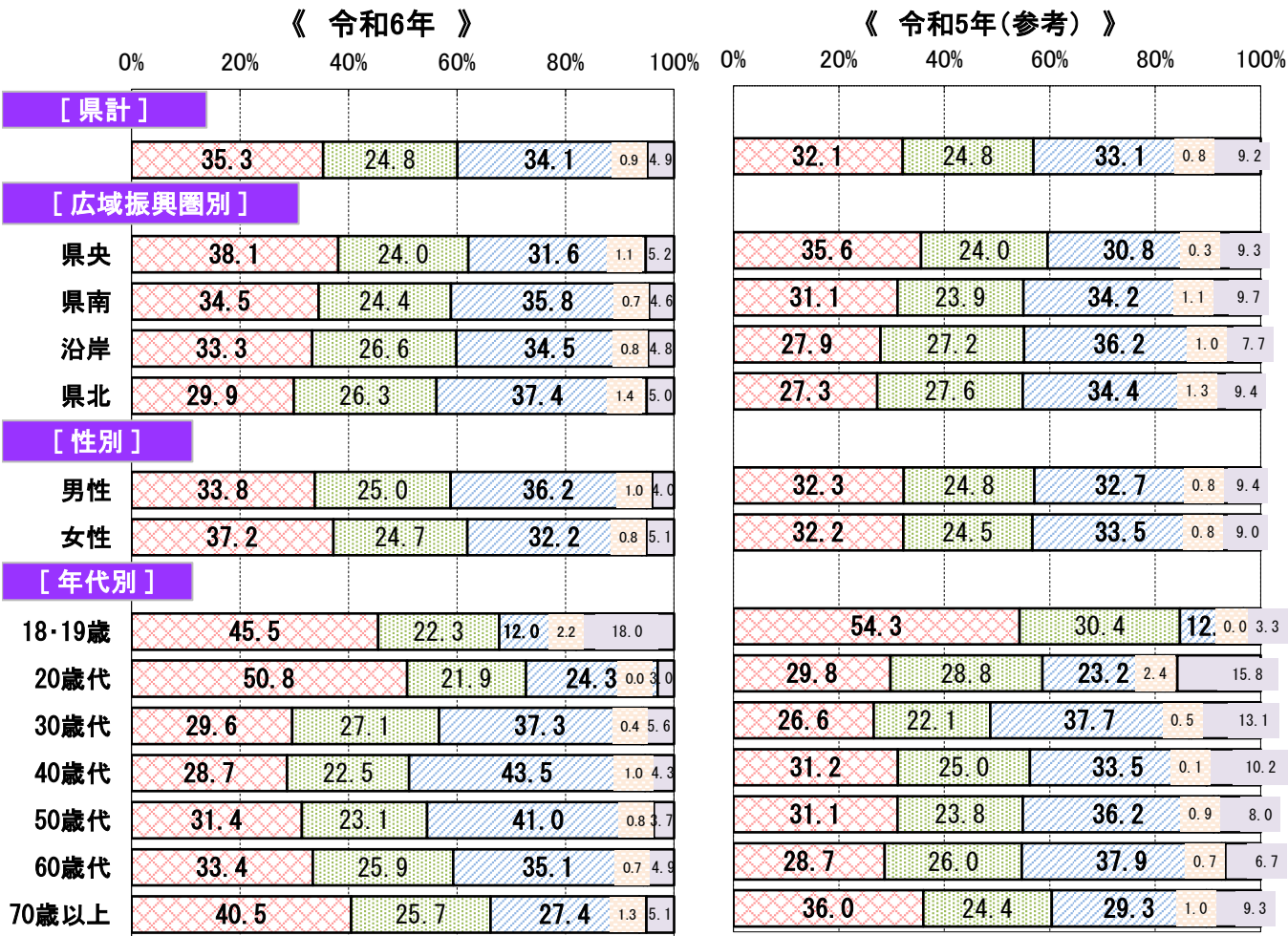
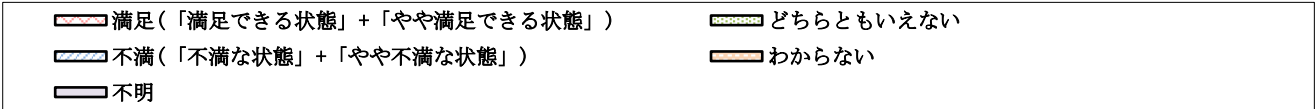
居住地（広域振興圏）別
性別
年代別
集計結果
（問１～問７）

	調査項目一覧	頁
問1	あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。	21
問2	「いわて県民計画(2019～2028)」に掲げる「10の政策分野」に関連する次の1から57の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。	
①	健康・余暇	
問2-1	体の健康づくりにについての相談、指導を受けられること。	24
問2-2	心の健康づくりにについての相談、支援を受けられること。	25
問2-3	必要な医療を適切に受けられること。	26
問2-4	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境であること。	27
問2-5	日常的に文化芸術に親しむ機会があること。	28
問2-6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会が充実していること。	29
問2-7	学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境であること。	30
②	家族・子育て	
問2-8	安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。	31
問2-9	学校・家庭・地域が連携し、子どもの育ちと学びに取り組んでいること。	32
問2-10	地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	33
問2-11	仕事と生活を両立できる環境であること。	34
問2-12	ペットなど動物のいのちを大切にする社会であること。	35
③	教育	
問2-13	子どもたちの学力が向上する教育がされていること。	36
問2-14	子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	37
問2-15	子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られていること。	38
問2-16	学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	39
問2-17	学校が、いじめや不登校に適切に対処していること。	40
問2-18	学校施設や登下校時において、子どもたちが安全・安心に学ぶことができる環境となっていること。	41
問2-19	特色ある私学教育の充実が図られていること。	42
問2-20	岩手の復興・発展を支える人材が育成されていること。	43
問2-21	文化芸術やスポーツの分野において、本県ゆかりの芸術家や選手が国内外で活躍していること。	44
問2-22	県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	45
④	居住環境・コミュニティ	
問2-23	道路や上下水道などの生活基盤の整備、歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化や冬は暖かく夏は涼しいなど良質な住宅の普及等が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	46
問2-24	鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	47
問2-25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティであること。	48
問2-26	岩手への移住・定住を増やすための取組が行われていること。	49
問2-27	外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい社会であること。	50
問2-28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくりが行われていること。	51
⑤	安全	
問2-29	地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	52
問2-30	犯罪に対する不安が少ない社会であること。	53
問2-31	交通事故が少ない社会であること。	54
問2-32	悪質商法、架空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	55
問2-33	購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない環境であること。	56
問2-34	感染症に対する備えが整っている社会であること。	57
⑥	仕事・収入	
問2-35	県内に職を求める人が希望どおりに就職できる環境であること。	58
問2-36	身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	59
問2-37	中小企業が、より魅力のある商品・サービス等の提供や経営人材の確保等に取り組み、事業活動を活発に展開していること。	60
問2-38	工場や事業所の新設・増設により、県内経済が活性化していること。	61
問2-39	地域の資源を生かした加工食品や工芸品などが開発され、販売されていること。	62
問2-40	海外における県産品の販路の拡大が図られること。	63
問2-41	魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	64
問2-42	地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	65
問2-43	消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されていること。	66
問2-44	本県農林水産物が評価され、販路が拡大していること。	67
問2-45	生産者や地域住民などとの地域活動や都市	

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

満足が3割台後半、不満とほとんど差はない

- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が35.3%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合34.1%とほとんど差はない。
- 属性別に見ると、広域振興圏別では県央(38.1%)、性別では女性(37.2%)、年代別では20歳代(50.8%)において満足の割合が最も高くなっている。
- 県平均との差が大きいのは、広域振興圏別では県北(△5.4ポイント)、性別では女性(1.9ポイント)、年代別では20歳代(15.5ポイント)となっている。

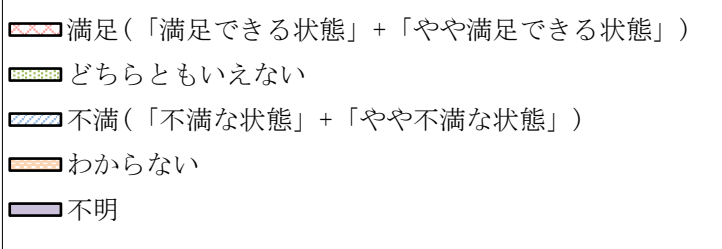


(広域振興圏別・性別・年代別の回答内訳及び生活全般の満足度(平均)(5ヵ年分))

令和2年と比べて生活全般の満足度(平均)が低下

- 県計では、生活全般の満足度(平均)が2.93となっており、4年前と比べて0.05ポイント低下している。
- 生活全般の満足度(平均)の増減が大きいのは、広域振興圏別では県南(0.14ポイント)、性別では男性(0.07ポイント)、年代別では18・19歳(0.33ポイント)となっている。

＜回答内訳＞



＜生活全般の満足度(平均)＞

「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

